

教育次長 ①年収約300万円②受給率11・6%③めがね等対象でない。④入学準備金ではない。

○この他に
①文化センター改修
②紙おむつ焼却化ボイラー設置について質問。

永井欣也議員

○寄附金について
永井 ふるさと納税3000万円と大幅増の計上だが。

総務課長 クレジット払いで件数増の実績。3千件を見込んでいる

○伯耆町ゆたかなふるさと創造基金繰入金

永井 前年度末基金残高1865万5千円のほとんどを取り崩したが。

総務課長 条例に定める使途の範囲で、教育分野、子育て分野の事業に充てた。



伯耆町文化センター（三部地内）

○文化センター改修事業
永井 長寿命化のための設計、管理委託料を計上。改修の基本的な考え方は。

教育次長 本町の人權拠点施設として大事。老朽化対策、高齢者配慮の点で地元と相談しながら。

○自主防災組織運営事業
永井 AED購入はリース対象外か。消耗品購入は集落負担か。

総務課長 リースは対象外。補助率を100分の

70にかさ上げしたので、是非設置に理解を。
○アスリート指導者招聘事業

永井 どのようなトップアスリートの招聘を考えているか。

教育次長 小中学生の基礎体力の向上を念頭に陸上、水泳など。

教育長 県のモデル事業、よく連携し子ども達の夢、目標となるようなトップアスリートを選定したい。

予算審査意見書

予算審査特別委員会より、平成27年度一般会計並びに14特別会計当初予算について、『審査意見』として、次の7項目を本会議にて審査報告し、承認を得ました。

1. 予算説明にあたって、複数部署にまたがる事業については、事前に各課等との十分な意思疎通を図られたい。
2. 検診事業は、鋭意努力されているが、さらなる受診率の向上と受診後の事後指導に努力されたい。
3. 町税等の徴収率の向上に努められたい。特に、固定資産税等の滞納事案については、ケースバイケースの強制換価等の適切な対応をされたい。
4. 外国人研修生生活サポート事業は補助金を交付する前提として、財源となる法人協力者からの寄付金の確保を図られたい。
5. 予算執行については、財務規則及び補助金等交付規則に即し適正な事務処理をされたい。
6. 町直営となる「岸本温泉ゆうあいバル」の運営については、これまでのサービスが低下しないよう努められたい。
7. スクールバスの運行については、児童、生徒の通学実態に合わせ、安全性と利便性を優先し、早急に運行体系を構築されたい。